

令和3年度

お茶の水女子大学
特別選抜学生募集要項

学校推薦型選抜

帰国子女・外国学校
出身者特別選抜



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

〒112-8610

東京都文京区大塚2丁目1番1号

TEL 03 (5978) 5151, 5152 (入試課)

HP <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

※新型コロナウイルス感染症の影響により、入学者選抜方法等を変更することがあります。
その場合、上記ホームページにて周知しますので、随時確認願います。

目 次

○ 入学者受入方針	
1. お茶の水女子大学の教育とアドミッション・ポリシー	1
2. 学部のアドミッション・ポリシー	1
3. 入学者選抜方法	2
4. 学科のアドミッション・ポリシー	2
○ 学校推薦型選抜学生募集要項	
1. 学部・学科別募集人員	7
2. 出願資格及び推薦の要件	7
3. 出願手続	8
(1) 出願上の注意	8
(2) 出願期間	8
(3) 出願方法	8
(4) 出願書類等	8
(5) 外国語検定試験（TOEFL、TOEIC、英語検定など）の取扱いについて	9
(6) 受験上・修学上の配慮の事前相談について	9
4. 選抜方法	9
5. 合格発表等	13
6. 個人情報及び試験成績の利用について	13
7. 入学手続	13
8. 合格とならなかった場合の取扱い	13
9. 調査書の開示について	14
10. 学校推薦型選抜の過去問題	14
11. 大学案内の請求	14
12. 令和4年度学校推薦型選抜（令和4年4月入学）に関する変更の予告	14
○ 帰国子女・外国学校出身者特別選抜学生募集要項	
1. 学部・学科別募集人員	15
2. 出願資格	15
3. 出願手続	15
(1) 出願期間	15
(2) 出願方法	15
(3) 出願書類等	16
(4) 外国語検定試験（TOEFL、TOEIC、英語検定など）の取扱いについて	16
(5) 受験上・修学上の配慮の事前相談について	17
4. 選抜方法	17
5. 合格発表等	18
6. 個人情報及び試験成績の利用について	18
7. 入学手続	19
8. 合格とならなかった場合の取扱い	19
9. 帰国子女・外国学校出身者特別選抜の過去問題	19
10. 大学案内の請求	19
11. 令和4年度帰国子女・外国学校出身者特別選抜（令和4年4月入学） に関する変更の予告	19
インターネット出願手順（図）	20
インターネット出願手順（詳細）	21
○ その他の案内	22

○ 入学者受入方針

1. お茶の水女子大学の教育とアドミッション・ポリシー

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場であることを使命とし、総合的な教養と高度な専門性を身につけた女性リーダーの育成を目指しています。そのため、21世紀型文理融合リベラルアーツ教育、専門教育における複数プログラム選択履修制度、およびキャリア教育を3つの柱とする教育を展開しています。複数プログラム選択履修制度では、将来のキャリア展望や関心に応じて、専門教育プログラムを履修します。第1のプログラムとして、所属する学科の開設する「主プログラム」を履修します(必修、入学した学科のものを選択)。次に第2のプログラムとして、専門領域に深く特化する「強化プログラム」、他の専門領域を横断して学ぶ「副プログラム」、領域融合型・学際型の「学際プログラム」のいずれかを選択し履修します(選択必修)。また文教育学部芸術・表現行動学科及び生活科学部食物栄養学科では、それぞれの教育目標にそった4年一貫の「専修プログラム」を設けています。各自の目的や関心にそって、主体的に学修することができます。

お茶の水女子大学では、すべての女性が年齢・国籍などにかかわらず自立した女性として、生涯にわたって多様に活躍できるキャリア形成の場を提供しています。知的好奇心と探究心を抱き、勉学意欲に富んだ学生の入学を期待しています。

2. 学部のアドミッション・ポリシー

◆ 文教育学部

文教育学部は、人間と文化と社会に迫る、人文・社会系の総合的な学部です。人間は、過去から現在に至るまで地球上のさまざまな地域で、言語をはじめとする文化や科学技術を創造し、政治、経済、教育などの諸社会組織を発展させてきました。人間と文化と社会を理解するためには、時間軸と空間軸の上に現代社会を位置づけ、マクロからミクロに至る多次元的なアプローチが必要です。

高校での学習は、その後の人生を「よく生きる」ためのものです。本学部志望者には、高校において文科系の科目はもちろん理数系の科目まで幅広く、同時にどん欲に深く学習することを望みます。

さまざまな領域や場で、リーダーが求められています。人間の思考や行動、表現に強い関心を持ち、意欲と能力と個性に富んだ皆さんが志望することを期待します。

◆ 理学部

理学部は、基礎科学の分野を研究対象として、主に自然界の原理や法則の追究を行うところです。女子大学の数少ない理学部として、知的好奇心溢れる女性を受け入れ、次世代のリーダーあるいは中核となる人材を育成し、社会に輩出することを目指しています。

本学部志望者には、高校において、理系科目(数学、理科[物理、化学、生物])を学び、論理的思考力を身につけるようにすること、及び、自然科学の基礎知識を習得しておくことはもちろんのこと、文系科目(英語、国語、社会)も幅広く履修し、筋道の立った文章が書けることなどが望まれます。

「帰国子女・外国学校出身者特別選抜」においては、志望学科に関係する各種コンテストなどで活躍した実績も評価します。なお、学校推薦型選抜は実施いたしません。

◆ 生活科学部

生活科学部は、人間生活における人間と環境との関係について、多角的な視点から見つめ直し、真にバランスの取れた人間の生活とは何かを探究する学部です。自然科学、人文科学、社会科学の3つの視点から、多面的に問題を考える姿勢を養うことが必要とされます。生活科学部では、それぞれの専門を深めるばかりでなく、文理融合の学部の特性を生かして、他の専門分野にも関心を持ち、多面的で総合的な視点から現実の人間生活の問題に取り組む力を持った、社会の多方面で活躍できる女性リーダーを育成することを目指しています。

高校における全ての科目が、大学での勉強に必要な基礎となりますので、志望学科の別を問わず、家庭科、芸術科、保健体育を含め、オールラウンドの学力を身につけておくことを期待します。

3. 入学者選抜方法

お茶の水女子大学では、総合的な教養と高度な専門性を身につけたグローバル女性リーダーを養成することを教育目標とし、「総合的な教養（教養知）」「高度な専門性（専門知）」「実践力（実践知）」「グローバル・リーダーシップ」の4つを学習目標として掲げています。リーダーとは、自ら考え、判断し、行動し、多様性をみとめ、協働できる人です。

4つの学習目標を達成する基盤となる力として、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」の3つの要素を、多面的・総合的に評価します。

◇学校推薦型選抜・帰国子女特別選抜

出願書類によって第1次選考を行います。第2次選考は、志望学科による小論文や論述試験と面接によって、基本知識をもとにした思考力、専門分野への関心、表現する力などを総合的に判定します。なお、芸術・表現行動学科では、実技検査によって、入学後の専門科目に必要な能力を判定します。

	教養知	専門知	実践知
	グローバル・リーダーシップ		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
学校推薦型選抜 帰国子女・ 外国学校出身者 特別選抜	調査書、 英語検定試験、 実技検査*	文系：小論文、面接・口述 理系：面接・口述	志望理由書、 推薦書、 面接

*文教育学部 芸術・表現行動学科

4. 学科のアドミッション・ポリシー

◆ 文教育学部

【人文科学科】

本学科は、人類のさまざまな歩みの中から、未来の英知につながるあらゆる現象を広く文化としてとらえる人間の知の総合学を志しています。深く幅広い知識を修得し、それらに立脚したオリジナルな問いを自ら見つけたし、必要な資料・データを粘り強く収集・整理したうえで、独自の論理を築きあげる力。勉学を続けていく場合でも、社会に出て活躍する場合でも必ず求められるこうした総合的な力を広く養成することが、本学科の目標です。

高校では、様々な教科や科目について幅広く学ぶと同時に、自分の関心を持ったテーマについて自主的に読書や調査を行うことを通じ、知的探究の面白さを経験してきてほしいと思います。いわゆる「指示待ち」型ではなく、物事を多面的に考えられる柔軟な思考力を持ち、独創的な解に到達しようとする意欲のある学生の皆さんの入学を希望します。

【選考方法】

第1次選考合格者に対し、第2次選考を行います。第2次選考では、自分が学びたいと考えている専門分野(哲学・倫理学・美術史、歴史学、地理学)についての基本的知識や考え方(問題意識)、意欲や資質などを見るため、小論文と面接(口述試験を含む。)を課し、総合的に可否を判断します。

[小論文]課題文や資料を読んだうえで、設問に沿って論述します。課題文・資料の内容を十分に把握し(読解力)、自分なりの論理を組み立て(論理展開力や独創性)、それを適切かつ表現豊かに論述できるか(表現力)、を評価の対象とします。

[面接]質疑を通して、将来の勉学の計画や自分の考えなどを明確に持ち、かつそれを的確に表現できるかといったコミュニケーション能力を見ます。

帰国子女・外国学校出身者特別選抜では、学校推薦型選抜と同様の基準と判定に加えて、外国における学校生活から学んだこと、及びそれを本学入学後どのように活かそうと考えているのかが問われます。

【言語文化学科】

皆さんは学校では主として国語や外国語の授業で文学や言語に接してきました。そしてそれ以上に、生まれてから現在までの家庭生活や社会生活の中で、言葉を操る力を獲得し、心を揺さぶる文学作品に出会ってきたことでしょう。

言語文化学科での学習・研究(日本語・中国語・英語・フランス語の各言語文化圏の言語・文化・思想や交流)を通じて、皆さんは漠然とした感動や疑問を明確な言葉で表現し、さらにそれを説明、解明していく方法を学びます。その学びにより、文学、言語およびその習得の面白さや不思議さを新たに発見、追究し、幅広い教養、高度な専門性と実践力を身につけることができるでしょう。

言語文化学科では、「ことば」というものの面白さに興味を持ち、そこに何かを発見したいと思っている皆さん、洗練された語学力を身につけて広い世界へ足を踏み出そうと考える皆さん、また「文学・芸術」が好きで、ただ鑑賞するだけでなく「その先」へ進みたいと思っている皆さんを歓迎します。そのような知的行為に興味を持ち、そのための訓練に耐えられるだけの、十分な基礎学力と、旺盛な知的的好奇心と、言葉への愛着を持ち、主体性と協働性を持って行動できる学生を求めます。

【選考方法】

日本語・日本文学、中国語圏言語文化、英語圏言語文化、仏語圏言語文化のいずれかのプログラムの学習と研究に特に強い興味と意欲を持ち、それらを主プログラムとして希望する志願者を求めます。

選考は書類による第1次選考と、小論文及び面接(口述試験を含む。)による第2次選考に分かれます。第2次選考の小論文では、それぞれの志望分野に相応しい読解力や表現力、論理の展開力、志望分野に対する関心や問題意識の高さなどを評価します。面接では、質疑を通して自らの志向・個性などを相手に的確に伝えるコミュニケーション能力や自己表現力を見ます。

帰国子女・外国学校出身者特別選抜では、学校推薦型選抜と同様の基準と判定に加えて、外国における学校生活から学んだこと、及びそれを本学入学後どのように活かそうと考えているのかを問います。

【人間社会科学科】

人間社会科学科における、人間の発達(教育科学)、人間の意識や行動の社会的側面(社会学)、子どもが育つ環境や文化(子ども学)という3つの専門領域に共通しているのは、自分を含めた「人間」に対するあくなき好奇心です。人間に関わる諸問題を学問的に解明し、そこで得られた知識を実際に役立てていきたいと考える学生の進学を期待します。

高校ではさまざまな教科や科目について幅広く学んでください。特に、国語・英語(外国語)・数学は、大学での学修と研究にとってたいへん重要な基礎的能力を育成するのに役立つでしょう。このほか地歴・公民や理科の学習を通じて、人間について深く考える姿勢と能力を身につけた学生を歓迎します。

【選考方法】

教育科学主プログラム又は子ども学主プログラムの学習に強い意欲と関心を持つ人を募集します。

第1次選考では、志望理由や入学後の学習計画が本学科の受入方針と合致しているかどうかを中心に判定します。第2次選考では教育科学又は子ども学に関する小論文試験及び口述試験によって総合的に判断します。

帰国子女・外国学校出身者特別選抜では、学校推薦型選抜と同様の基準と判定に加えて、口述試験において外国における学校生活から何を学んだのか、及びそれを本学の入学後にどのように活かそうと考えているのかが問われます。

【芸術・表現行動学科】

本学科は、人間の芸術及び表現行動としてのパフォーマンスとその学問的研究との両方を、同時に追究しようとする貪欲な人を求めています。本学は小規模ながらも総合大学ですから、その特性を十分に利用して、「自ら」多様な可能性を切り開こうという積極的姿勢が要求されます。

本学科では、舞踊や音楽の理論と実技の双方の習得を目的とし、4年一貫で履修する専修プログラムを設け、複数プログラム選択履修制度をとっていません。受験の際に選択したコース(専修プログラム)を履修します。

【舞踊教育学】

本専修プログラムは、舞踊を中心にスポーツから日常動作にいたる人間の身体活動や表現について、理論と実践の両面から積極的に研究を進めることのできる、両者のバランスの取れた、エネルギッシュな人材を求めています。舞踊は高校で学ぶ全ての教科と関連していますので、幅広く学習を進めてください。その上で、保健体育、国語及び英語については特に重点的に学習し、基本的な運動能力、文章表現力、英文の読解力をきちんと身につけてください。

【選考方法】

第1次書類選考合格者に対し、小論文・実技検査・面接(口述試験を含む。)を行います。

帰国子女・外国学校出身者特別選抜では、学校推薦型選抜と同様の基準と判定に加えて、第1次書類選考合格者に対し、面接にて、外国での学校生活において体験したこと・学んだことと自身の舞踊との関わりなどに関する質疑応答があります。合格判定は、出願書類と第2次選考の成績を総合して行います。

【音楽表現】

音楽は人間の感性に関わるとともに、高度に知的社会的な活動であり、人間の営みに深く根づいています。本専修プログラムは、勉強も実技もきちんとやってみたい、そんな贅沢な悩みを抱えている人に開かれています。高校で学ぶ教科は全て重要ですが、音楽は言うまでもなく、英語と歴史はしっかりと身につけてきてください。

【選考方法】

第1次書類選考合格者に対し、小論文・実技検査・面接(口述試験を含む。)を行います。

帰国子女・外国学校出身者特別選抜では、学校推薦型選抜と同様の基準と判定に加えて、面接にて、外国での学校生活において体験したこと・学んだことと自身の音楽との関わりなどに関する質疑応答があります。

◆ 理 学 部

【数 学 科】

数学は、あらゆる現象の背後にある数や図形の永久に変わらない真理を追究する学問です。それを学ぶことで、魂を揺さぶる美しいものや実生活で役に立つものに出会い、また世界を見通すための厳格な論証法を身につけられるとえます。

このような観点から、数学科では主に以下のような目標を持った人を求めます。

- ・教師や研究者のように数学を職業としたい人
- ・数理的な素養を生かして社会を支える仕事につきたい人
- ・とにかく数学に対して意欲を持って勉強したい人

受験者に求めるのは以下のことです。

- ・高校での数学を十分に理解し、大学での講義に必要な数学の知識を身につけている。
- ・文章から数学的な意味を読み取ることができる。
- ・自分の考えを数学的、論理的な文章に表現して相手に伝えられる。

【選考方法】

帰国子女・外国学校出身者特別選抜では、書類選考のほか、面接(口述試験を含む。)を行います。面接ではあらかじめ数学的内容の質問事項をいくつか提示し、考えを整理する時間を設けます。その上でそれらについてどのように考えたかなど色々なことを質問します。基本的なことがらを筋道正しくきちんと考えることができ、かつ説明できるかが試されます。加えて、外国における学校生活から何を学んだのか、及び本学入学後それをどのように活かそうと考えているのかを訊ねます。合格の判定は提出書類(高校での成績、志望理由書など)と面接の結果を総合して行われます。

なお、学校推薦型選抜は実施いたしません。

【物 理 学 科】

自ら考えて問題を見つけ出し、自ら考えてこれを解決する学生を希望します(もちろん、必要になれば教員の適切な助言及び指導を受けることができます)。また、豊かな人間性ととともに、他人との協調性に優れた人格が望まれ、忍耐力も必要です。

卒業後には物理学の勉学を通して培った、「物事の法則を発見しそれを応用する能力」を各方面で発揮し、社会において指導的役割を果たす女性となることを期待しています。しかしながら究極的には、「物理学を学んで生き生きと充実した人生を送ること」が最も大切と考えています。

【選抜方法】

帰国子女・外国学校出身者特別選抜では、高等学校の調査書等に加えて本人が記載する志望理由書の内容が、物理学科のアドミッション・ポリシーに合致するかどうかを重視しています。補足資料(自由研究レポート、実験ノート、それまで関心を持ち続けたテーマについて考えをまとめたノート等のコピー)の添付を認めているのも、自ら考えて問題を見つけ出し、自ら考えてこれを解決する学生を発見したいためです。

第1次選考合格者に対しては、2種類の面接(口述試験を含む。)を課しています。別室で解かせた計算問題に関する質疑応答から計算力と理解力を問う口述試験(20分間)と、様々な物理現象を直観的に説明させることから自由な発想力と直感力を問う口述試験(20分間)の2種類がこれにあたります。合否は出願書類と2種類の面接に加えて、外国における学校生活から何を学んだのか、及びそれを本学に入学後どのように活かそうと考えているのかを問います。

なお、学校推薦型選抜は実施いたしません。

【生物学科】

生物学では、微生物からヒトまで、多種・多様な“生き物”の複雑で多様な生命現象を研究します。そのためには、いろいろな視点から考える柔軟な思考力とそれを支える幅広い基礎知識が必要です。したがって、高校生時代を通して、理系、文系を問わず、教科科目を幅広く学び、論理的思考や知的好奇心をはぐくんでいることを希望します。また、“生き物”の複雑で多様な生命現象を観察し、“生き物”と忍耐強く対話し、自ら考え、自ら問題を見つけ、試行錯誤しながらこれを解決する意欲とパワーを持つ学生を希望します。“生き物”に関する理解と関心を深め、より豊かな知の財産を築ける人に育つことを期待しています。

【選考方法】

多様な領域を含む生物学を学ぶには、多彩な才能の持ち主を期待します。帰国子女・外国学校出身者特別選抜では、第1次選考合格者に対し、論述試験と面接(口述試験を含む。)を課します。論述試験では、生物学を中心とした科学の基礎知識、科学的文章の読解力、論理的表現力を判定します。面接では、面接担当教員との質疑応答を通して、自らの生物学の知識と考え方、社会に向き合う態度、将来への明確な展望、思考能力、個性や才能等、さらに、これらを面接担当教員に的確に伝える能力を重視します。合格判定では、出願書類と第2次選考の成績に加えて、外国における学校生活から学んだこと、それを本学入学後にどう活かそうと考えているのかが重視されます。

なお、学校推薦型選抜は実施いたしません。

【情報科学科】

情報科学はコンピュータの出現によってその存在と価値が確かめられた「情報」とよばれる概念を、エネルギーや物質と並ぶ世界の主要な構成要素として認識し、その生成、管理、利用に関する原理を探究する新しい学問分野です。今日、その応用は自然科学や工学のみならず、社会科学や人文科学にも及んでいます。

この奥深さを理解し、これまでの成果を学びたい人、さらに今後の進展に積極的に貢献したい人にぜひ進学してほしいと思います。情報科学は、これまでの数理科学や自然科学の考え方を偉大な先達として独自の方法論を展開しようとしていることから、広くかつ深い理系のセンスが問われます。

情報科学を通じて 21 世紀の科学技術を支えるのは自分たち女性だと心底思っている人、あるいは思いたい人、あるいはそう言われて「そうなんだ」と今気づいた人を大歓迎します。なお、入学時にコンピュータを使えることは仮定しません。

【選考方法】

帰国子女・外国学校出身者特別選抜では、高等学校長作成の調査書等に加えて本人が記載する志望理由書の内容が、情報科学科のアドミッション・ポリシーに合致するかどうかを重視しています。また第1次選考合格者に対しては、筆記試験及び口述試験を課しています。筆記試験では、理系の基本的な能力を問うための数学の試験と、表現力及び自分で考えながら論述する能力を問うための小論文を課しています。口述試験では、入学後の必修講義に対応できるだけの数学等の学力が備わっているかどうかを判断します。さらに外国における学校生活から何を学んだのか、及びそれを本学科に入学後どのように活かそうと考えているのかも問われます。合格判定は、出願書類を参考にしながら、筆記試験の合計点と口述試験の内容を総合して判断しています。

なお、情報科学科に入学後の講義は高校における数学Ⅲの知識と外国語(特に英語)能力を仮定して行われます。ただし入学時にコンピュータを使えることは仮定しません。

また、学校推薦型選抜は実施いたしません。

◆ 生活科学部

【人間生活学科】

本学科では、豊かな人間生活の実現を担う人材の育成を、「生活社会科学」、「生活文化学」という相互に関連する2つのアプローチを通して追求します。①生活社会科学:地域社会から国際社会まで、多角的な社会環境を視野に入れて、家族、消費者、女性、高齢者、子ども、制度と政策の問題などの生活と社会及びその関係についての社会科学的視点から分析し、政策の立案・提言を探求します。②生活文化学:人間にとって最も身近な服飾と住居、工芸、デザインなどの生活造形を生み出し、子どもを育ててきた生活文化の歴史と現在について、比較文化的・民俗学的・歴史学的・保育学的視点から考察し、理解を深めます。これらの人間生活に関わる諸課題に関心があり、問題意識と研究意欲を持っている人、錯綜する現代の生活状況の中で、人間性を重視した社会を築くために貢献したいと考えている人、潤いのある生活を実現しようという熱意を持っている人を歓迎します。本学科を志望する人は、人間生活学科の2つのアプローチを踏まえ、高等学校において地理歴史・公民などの社会科系の科目をしっかりと履修していることはもちろんのこと、英語、数学、国語をはじめ、高等学校における教科科目を偏り無く履修していることを強く望みます。

【選考方法】

書類による第1次選考と、その合格者に対する第2次選考の2段階で行います。第1次選考では、調査書、志望理由書、推薦書によって基礎学力や専門領域への適性を評価します。第2次選考の面接(口述試験を含む。)では論理的思考力・自己表現力・志望領域に対する問題意識などを総合的に評価します。合格判定は、出願書類と第2次選考の成績を総合して行います。

帰国子女・外国学校出身者特別選抜では、学校推薦型選抜と同様の基準と判定に加えて、外国における学校生活から学んだこと、それを本学入学後にどう活かそうと考えているのかが問われます。

【心理学科】

心理学は、人間の心理的プロセスを科学的に解明し、エビデンスに基づいて人々の生活する環境や社会の課題解決を目指す学問領域です。この目的を理解して、人間の行動と心に関する科学的な見方と深い洞察力を磨き、現代の生活環境や社会の諸問題に取り組む研究意欲のある人、心の発達や健康への心理臨床的支援を行うことで社会に貢献しようという熱意のある人の進学を歓迎します。

志望する人は、高等学校において、国語・英語(外国語)・数学をはじめ、高等学校における教科科目を偏り無く履修していることを強く望みます。

【選考方法】

書類による第1次選考と、その合格者に対する第2次選考の2段階で行います。第1次選考では、調査書、志望理由書、推薦書によって基礎学力や専門領域への適性を評価します。第2次選考では心理学に関する小論文と面接(口述試験を含む。)によって総合的に判断します。

帰国子女・外国学校出身者特別選抜では、学校推薦型選抜と同様の基準と判定に加えて、外国における学校生活から学んだこと、それを本学入学後にどう活かそうと考えているのかが問われます。

第2次選考では心理学に関する小論文と面接(口述試験を含む。)によって総合的に判断します。合格判定は出願書類と第2次選考の成績を総合して行います。

○ 学校推薦型選抜学生募集要項

1. 学部・学科別募集人員

学部	学 科	募集人員
文 教 育 学 部	人 文 学 科	入学定員のうち 12 名
	言語文化学科 人間社会科学科 芸術・表現行動学科「舞踊教育学専修プログラム」 「音楽表現専修プログラム」	入学定員のうち 16 名 入学定員のうち 10 名 入学定員のうち 3 名 入学定員のうち 4 名
生 活 学 部	人間生活学科 心 理 学 科	入学定員のうち 7 名 入学定員のうち 3 名

(注) 理学部の数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科、および生活科学部の食物栄養科学科、人間・環境科学科では、学校推薦型選抜を実施しません。これらの学校推薦型選抜を実施しない学科については、同時期に総合型選抜（新フンボルト入試）を実施します。

2. 出願資格及び推薦の要件

文 教 育 学 部	令和2年度中（令和2年4月～令和3年3月）に高等学校（中等教育学校を含む）を卒業又は卒業見込みの女子で、高等学校長が、以下の要件に該当すると認め、責任を持って推薦できる者	
	人 文 学 科	次の①又は②のいずれかに該当する者 ① 調査書の学習成績概評が、Aの者 ② 次のa～cのいずれかに該当する者 a. 哲学、倫理学、美術史のいずれかの分野に対する強い関心を持ち、優れた能力を有する者 b. 歴史学に対する強い関心を持ち、優れた能力を有する者 c. 地理学に対する強い関心を持ち、優れた能力を有する者
	言 語 文 化 学 科	次の①と②の双方に該当する者 ① 調査書の学習成績概評が、A以上の者 ② 将来の専門的研究への意欲的なビジョンを持ち、次のいずれかに該当する者 a. 「日本語・日本文学」： 国語の成績がきわめて優秀で、日本語・日本文学の研究に強い意欲を有する者 b. 「中国語圏言語文化」： 中国語又は国語又は英語の成績がきわめて優秀で、中国語・中国文学の研究に強い意欲を有する者 c. 「英語圏言語文化」： 英語の成績がきわめて優秀で、英語や英語圏の文学・文化の研究に強い意欲を有する者 d. 「仏語圏言語文化」： フランス語又は英語又は国語の成績がきわめて優秀で、フランス語・フランス語圏の文化の研究に強い意欲を有する者 なお、出願に際しては当学科の受入方針（3ページ）も参照すること。
	人 間 社 会 学 科	次の①と②の双方に該当する者 ① 調査書の学習成績概評が、A以上の者 ② 教育科学、子ども学（人間社会科学科の受入方針（3ページ）参照）のいずれかの勉学に強い意欲を有する者
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	次の①又は②のいずれかに該当する者 ① 調査書の学習成績概評が、Aの者 ② 「舞踊教育学」： 舞踊において、特に優れた能力と意欲を有する者 「音楽表現」： 音楽において、特に優れた能力と意欲を有する者
生 活 学 部	令和2年度中（令和2年4月～令和3年3月）に高等学校（中等教育学校を含む）を卒業又は卒業見込みの女子で、真理の探究に対し強い憧憬と意欲を抱き、かつ、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任を持って推薦できる者 ①調査書の学習成績概評がAの者 ②志望学科における各専門領域の勉学に強い意欲を有する者	

(注) 推薦を行う者については、高等学校長のほか高等専門学校長及び高等部を置く特別支援学校長並びに文部科学大臣から高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定された在外教育施設の長を含む。

3. 出願手続

※学校推薦型選抜はインターネット出願のみの受付となります。

(1) 出願上の注意

- ① 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)は1つの大学・学部しか出願できない。
- ② 出願後の志望学部・学科等の変更は認めない。
- ③ 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

(2) 出願期間

令和2年11月2日(月)から11月5日(木)まで【必着】

この期間中に、インターネット出願の登録と検定料の納入を済ませ、なおかつ出願書類が本学に到着するよう送付すること。

ただし、11月4日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(3) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒貼付用宛名シート(インターネット出願時印刷可能)を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

[送付先]

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試課

インターネット出願に関しては20ページ「※インターネット出願手順」を参照

(4) 出願書類等

1	志願者名票・写真票	インターネット出願サイトで入力後、印刷したもの。
2	調査書	高等学校長が作成し、厳封したもの。
3	推薦書	※本学所定の用紙に高等学校長が作成し、厳封したもの。
4	志望理由書	※本学所定の用紙(注1)
5	実技関係調査書	文教育学部芸術・表現行動学科志願者のみ※本学所定の用紙で提出すること。(注2)
6	検定料	17,000円(手数料別途) <u>各種支払方法については20~21ページを参照</u> 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 1. 第1次選考の不合格者に対して、所定の手続きにより13,000円を返還する場合 2. 検定料を振込んだが本学に出願しなかった、又は出願が受理されなかった場合 3. 検定料を誤って二重に振込んだ、又は多く振り込んだ場合 検定料は出願者からの返還請求に基づき返還するため、上記の返還事由に該当する場合には、令和2年12月4日(金)までに本学入試課に請求すること。(1.に該当する場合、請求書類は第1次選考結果通知書に同封する。また、出願した後に受験を取りやめた場合は、返還事由に該当しない。)

※ 推薦書、志望理由書、実技関係調査書、健康診断書は、本学入試課ホームページの必要項掲載ページからダウンロード、印刷すること。

(注1) 生活科学部人間生活学科の学校推薦型選抜志願者については、上記の「志望理由書」に志望するプログラムを記入することに加え、何か個性的な活動をしていれば、補足資料(ボランティア活動、部活動、生徒会活動、自分で本を読んで考えたことなど)を添付してもよい。

※ 志望理由書に加え、業績の補足資料の提出を認めるのは、上記学部・学科に限ります。

(注2) 芸術・表現行動学科舞踊教育学専修プログラムに出願する者は、健康診断書(本学所定の用紙)を添付

してください。健康診断書の提出は、実技検査を安全に行うために健康状況を把握するためのもので、その内容は、**試験の成績には一切影響しません。**

(5) 外国語検定試験（TOEFL、TOEIC、英語検定など）の取扱いについて

次の学科の志望者は、外国語検定試験（TOEFL、TOEIC、英語検定等）に関して、下表のとおり定めます。

学 部	学 科	摘 要
文教育学部	人文学科	外国語検定試験（TOEFL、TOEIC、英検）のスコア・級を持っている者は、その写しを提出すること。
	言語文化学科	外国語検定試験（TOEFL、IELTS、TOEIC、英検、ケンブリッジ英語検定、TEAP、GTEC；HSK、中検；DELTA/DALF、TCF、仏検；独検）のスコア・級を持っている者は、その写しを提出すること。
	人間社会科学科	外国語検定試験（TOEFL、IELTS、TOEIC、英検）のスコア・級を持っている者は、その写しを提出すること。
生活科学部	人間生活学科	外国語検定試験（TOEFL、IELTS、TOEIC、英検）のスコア・級を持っている者は、その写しを提出すること。
	心理学科	外国語検定試験（TOEFL、IELTS、TOEIC、英検）のスコア・級を持っている者は、その写しを提出すること。

(注) 1. TOEFL、TOEICについては、団体特別受験制度によるスコアは認めない。

2. スコア・級の写しについては、本学入学試験日からさかのぼり2年以内に受験したものとする。

(6) 受験上・修学上の配慮の事前相談について

- ① 本学に入学を志望する者のうち、心身に障害あるいは疾病があり、受験上の配慮を必要とする者(点字又は代筆による解答を希望する者を含む)については、事前相談を行うので、10月1日(木)までに入試課に申し出てください。その際、「受験上の配慮事前相談申請書」や「医師の診断書」等を提出していただく場合があります。なお、受験上の配慮を講じる必要はないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様の問合せをしてください。
- ② 本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する者を2020(令和2)年4月入学者から受け入れることとしました。戸籍又はパスポートの性別と性自認が異なっている者については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、9月25日(金)までに必ず入試課に申し出てください。その際に、「出願申出書」及び「住民票又はパスポートの写し」等を提出していただき、出願資格等の確認をいたしますが、申し出によって、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、次の第1次選考・第2次選考に分けて行う。

(1) 第1次選考

文教育学部	出願書類による書類選考を行い、令和2年11月13日(金)に、その合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」及び「検定料返還請求書」を郵送する。 また、同日正午に入試課ホームページにも第1次選考合格者の受験番号を掲載する。
生活科学部	
入試課ホームページURL http://www.ao.ocha.ac.jp/	

(2) 第2次選考

文教育学部	人文学科 言語文化学科 人間社会科学科	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文を令和2年11月28日(土)に、面接(口述試験を含む)を11月29日(日)に行い、書類選考、小論文及び面接の結果を総合して合否を判定する。
	芸術・表現行動学科 舞踊教育学コース 音楽表現コース	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文及び実技検査を令和2年11月28日(土)に、面接(口述試験を含む)を11月29日(日)に行い、本学の必修科目を受講するのに必要な能力を基準として、書類選考、小論文、面接及び実技検査の結果を総合して合否を判定する。
生活科学部		第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文(心理学科のみ)と面接(口述試験を含む)を令和2年11月28日(土)に行い、書類選考及び小論文、面接の結果を総合して合否を判定する。

◆時間割

学 部	学 科	令和2年11月28日(土)		令和2年11月29日(日)	
		教科等	時 間	教科等	時 間
文教育学部	人 文 科 学 科	小 論 文	10:00～11:30	口述試験	10:00～(予定)
	言 語 文 化 学 科				
	人 間 社 会 科 学 科				
	芸術・表現行動学科 舞踊教育学専修プログラム 音楽表現専修プログラム	小 論 文	10:00～11:30		
		実 技*1	12:30～		
生活科学部	人 間 生 活 学 科	口述試験	10:00～		
	心 理 学 科	小論文	10:00～11:30		
		口述試験	13:00～		

*1 実技検査は11ページ～12ページを参照。

(注) 第2次選考の日程の詳細については、「第1次選考合格通知書」に同封し通知する。

実技検査（令和2年11月28日（土））

○芸術・表現行動学科「舞踊教育学専修プログラム」志願者に次の検査を行う。

1 必須課題

舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動

2 舞踊課題

下記の①と②を行う。

- ① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊、マイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。

＜使用する音源について＞

- ・使用する音源は予め CD-R に録音（書き込み）し、持参すること。
- ・使用する CD-R には、受験番号と氏名を記入すること。

＜録音（書き込み）に関する注意事項＞

- ・CD-R への録音（書き込み）は WAV や AIFF、MP3、WMA などのファイルを記録する「データ CD 形式」ではなく、一般の音楽 CD と同じ「オーディオ CD（CD-DA）形式」で行うこと。
- ・パソコンではなく CD レコーダーで録音する場合は、最後に必ずファイナライズをすること。ファイナライズをしていない CD-R は他の機器では再生不可能。
- ・録音（書き込み）をした CD-R は、必ずラジカセやミニコンポなど複数の CD プレーヤーで再生できることを確認の上、持参すること。

- ② 創作：課題は当日提示する。

・ 実技検査に持参するもの

- ① 体育館シューズ(全受験者)
 - ② 各自課題に必要な服装[ゼッケン(縦 15cm×横 20cm の白布に本学の受験番号を記入したものを前面に縫い付ける)、用具、靴等]
 - ③ 音源
- ・「舞踊課題」の試験場の床はリノリウムである。松脂の使用は不可。また、タップダンスなどで底の硬い靴を使用する場合は、こちらで用意した2m四方の板の上で行う。
 - ・「舞踊課題」の試験場の高さは2m76cmと低いため、新体操等での手具を投げる演技は不可。

○芸術・表現行動学科「音楽表現専修プログラム」志願者に次の検査を行う。

- 1 ソルフェージュ：以下の a、b を実施する。
 - a. 聴音(単旋律、及び2声体)
 - b. 新曲視唱
- 2 演奏課題：以下の a、b、c を実施する。
 - a. 声楽：イタリア古典歌曲(原語)^[注1]の中から任意の1曲を演奏すること。
 - b. ピアノ：以下の①と②をこの順番で演奏すること。
 - ①音階(ハノン 39 番に準拠。全調より当日抽選によって各自の課題調(長調とその平行調)を決定。長調は繰り返しなし、短調は和声的・旋律的音階を各1回演奏すること。)
 - ② J. S. バッハの《インヴェンション》又は《シンフォニア》から任意の1曲
 - c. 以下の①又は②のいずれかを選択すること。
 - ① 声楽：日本歌曲又は、アリア(原語・原調)か外国歌曲(原語)の中から任意の1曲を演奏すること。
 - ② ピアノ：ベートーヴェンのピアノソナタの中から任意の1曲の第一楽章を演奏すること。

☆注意点

- ・演奏実技は、全て暗譜で行うこと。
- ・声楽の演奏実技(a、及び、c①)について：受験者は必ず伴奏用楽譜を提出すること。
- ・楽譜には氏名を明記し、出願書類と共に送付すること。なお、伴奏用楽譜は返却しない。
- ・声楽試験に用いるピアノ伴奏用楽譜の製本は次の要領により整えること。

①楽譜の大きさは、1 ページ縦 30cm×横 22cm 又はA4 縦とする。②楽譜は、声部、歌詞及びピアノ伴奏部が記載されていること。③楽譜は伴奏者が見やすく、扱いやすくするために画用紙程度の台紙に貼りつけて折本仕立てにして、各ページを全開できるように製本すること。

1 頁目	2 頁目	3 頁目	4 頁目 ...
------	------	------	-------------

楽譜のつなぎ目をテープ等で留める

[注1]
パリゾットティ版に準拠。

5. 合格発表等

(1) 合格者の発表

令和2年12月10日（木）正午

本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を、合格とならなかった者には「結果通知書」を郵送（速達）する。

また、本学入試課ホームページにも合格者の受験番号を掲載する。
電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

(2) 合格者は、本学及び他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/>）参照）を受験することはできない。

(3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。

6. 個人情報及び試験成績の利用について

(1) 大学が取得した氏名、生年月日、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（学生証の発行、健康管理、授業料減免、奨学金の選考等）及び授業料等に関する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

7. 入学手続

(1) 合格者に送付される「入学手続関係書類」により手続きを行うこと。

① 入 学 料：282,000円（予定額）

② 授業料年額：535,800円（前期分 267,900円）（予定額）

（入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。また、前期分の授業料を下記入学手続期間中に納付しない場合は、4月1日から5月31日までの間に納入することになる。）

③ 入学手続期間：令和2年12月11日（金）～12月17日（木）に郵送により行う。

(注) 1. 入学手続が受付期間内に完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱う。
2. 入学料及び授業料の減免については、22ページの「2. 入学料減免と授業料減免」を参照のこと。
3. 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

(2) 合格者が極めて特殊な事情により入学を辞退する場合は、令和3年1月22日（金）までに、その理由を付した本学学長あての「学校推薦型選抜辞退願」（様式任意）を、推薦を受けた学校長の連署を得て、入試課に提出すること。

入学辞退が許可されない場合には、本学及び他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても入学許可は得られないので注意すること。

8. 合格とならなかった場合の取扱い

合格とならなかった者で、一般志願者として国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しようとする者は、前期日程の大学・学部から1つ、後期日程の大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願することができる。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等が異なる場合があるので特に注意すること。

本学に出願する場合は、別途「令和3年度お茶の水女子大学学生募集要項（一般選抜）」（10月下旬以降公開予定）により、インターネットで出願登録・支払いを行った上で出願書類を所定の期間に入試課宛に郵送すること。

9. 調査書の開示について

本学の令和3年度学校推薦型選抜の出願書類として提出された調査書の開示を下記のとおり行います。

- (1) 開示内容
調査書の「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」を除き開示します。
- (2) 申請者
受験者本人に限ります。(代理人による申請は認めません。)
- (3) 申請方法
 - ① 窓口受付
本学学校推薦型選抜受験票、印鑑及び返信用封筒(本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、529円分(普通郵便94円+書留料金435円)の切手を貼った長形3号(12.0cm×23.5cm))を本学入試課へ持参の上、備付の申請用紙に必要事項を記入し、申請してください。
 - ② 郵送受付
入学試験成績開示申請書、本学学校推薦型選抜受験票及び返信用封筒(本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、529円分(普通郵便94円+書留料金435円)の切手を貼った長形3号(12.0cm×23.5cm))を同封の上、本学入試課宛郵送してください。
なお、申請書は本学入試課ホームページからダウンロードすることができます。
- (4) 申請期間 令和3年5月6日(木)～6月30日(水)
- (5) 開示方法 令和3年7月末までに受験者本人へ書留郵便で送付します。

(注) 本学入学試験受験票を提示できない場合は、開示いたしませんのでご注意ください。

10. 学校推薦型選抜の過去問題

過去問題は本学入試課ホームページに掲載していますので、参考にしてください。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

11. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されています。

テレメールで請求できます(料金後納250円)。インターネット <https://telemail.jp> からか自動音声応答電話(050-8601-0101)にアクセスしてください。一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。そこで、「大学案内」の資料請求番号「562372」をプッシュ又は入力し、あとはガイダンスに従って登録してください。

また、入試課ホームページ (<http://www.ao.ocha.ac.jp/>)からも請求できます。

なお、テレメールでの請求に関しては、テレメールカスタマーセンター(電話050-8601-0102)(9:30～18:00)にお問合せください。



12. 令和4年度学校推薦型選抜(令和4年4月入学)に関する変更の予告

特に無し。

○ 帰国子女・外国学校出身者特別選抜 学生募集要項

1. 学部・学科別募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
文 教 育 学 部	人 文 学 科 言 語 文 化 学 科 人 間 社 会 学 科 芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 「舞 踊 教 育 学 専 修 プ ロ グ ラ ム」 「音 楽 表 現 専 修 プ ロ グ ラ ム」	} 入 学 定 員 の うち 若 干 名
理 学 部	数 学 科 物 理 学 科 生 物 学 科 情 報 学 科	} 入 学 定 員 の うち 若 干 名
生 活 学 部	人 間 生 活 学 科 心 理 学 科	} 入 学 定 員 の うち 若 干 名

2. 出願資格

日本国籍を有する女子又は日本国の永住許可を得ている女子で、保護者の海外勤務などの事情により、次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国の正規の教育制度に基づく教育機関において、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を令和2年4月1日から令和3年3月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者で、外国において最終学年を含め2年以上（2学年相当修了も含む）継続して学校教育を受けている者。
- (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が出願資格授与する国際バカロレア資格を有する者。
- (3) 外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者。
- (4) 外国において、フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者。
- (5) 外国において、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者。

（注）外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有していると認定した在外教育施設）に在学した期間については、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。

3. 出願手続

※帰国子女・外国学校出身者特別選抜はインターネット出願のみの受付となります。

(1) 出願期間

令和2年11月2日（月）から11月5日（木）まで【必着】

この期間中に、インターネット出願の登録と検定料の納入を済ませ、なおかつ出願書類が本学に到着するように送付すること。

ただし、11月4日（水）以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒貼付用宛名シート（インターネット出願時印刷可能）を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

〔送付先〕

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試課

インターネット出願に関しては20ページ「※インターネット出願手順」を参照

（注）大学からの連絡、第1次選考、第2次選考の結果通知等は、すべて出願時に登録した「現住所」「合格通知先」欄に記載の住所・氏名あてに行う（日本国外宛には一切送付できません）。

(3) 出願書類等

1	志願者名票・写真票	インターネット出願サイトで入力後、印刷したもの。
2	身上記録書	※本学所定の用紙
3	最終出身校卒業（修了） 証明書又は卒業（修了） 見込証明書	高等学校〔日本の高等学校に相当する課程をいう。（以下「高等学校」という。）〕 長の作成したもの。バカロレア・アビトゥア・GCEA 資格を有する者は、その証 書の写しを同封すること。
4	成績証明書又は調査書	高等学校長が作成し厳封したもの。 ただし、成績証明書記載事項のうち科目名、成績評価等が符号又は略字により 表示されている場合には、必ずその説明を付すること。
5	在籍証明書	在籍した外国の学校のそれぞれの学校長が作成したもの。
6	志望理由書	※本学所定の用紙（注1～注4）
7	実技関係調査書	文教育学部芸術・表現行動学科志願者のみ※本学所定の用紙で提出すること。 （注5）
8	検 定 料	17,000円（手数料別途） <u>各種支払方法については20～21ページを参照</u> 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 1. 第1次選考の不合格者に対して、所定の手続きにより13,000円を返還 する場合 2. 検定料を振込んだが本学に出願しなかった、又は出願が受理されなかつ た場合 3. 検定料を誤って二重に振込んだ、又は多く振り込んだ場合 検定料は出願者からの返還請求に基づき返還するため、上記の返還事由に該当 する場合には、令和2年12月4日（金）までに本学入試課に請求すること。 （1.に該当する場合、請求書類は第1次選考結果通知書に同封する。また、出 願した後に受験を取りやめた場合は、返還事由に該当しない。）

※ 身上記録書、志望理由書、実技関係調査書、健康診断書は、本学入試課ホームページの本要項掲載ページからダウンロード、印刷すること。

- (注1) 理学部の志願者については、数学、理科、情報関係の各種コンテストなどに参加した経験がある場合には、それを示す書類や資料などのコピーを添付してもよい。
- (注2) 理学部物理学科の志願者については、上記の「志望理由書」の補足資料（例えば、自由研究レポート、実験ノート、これまで関心を持ち続けたテーマについて考えをまとめたノート等）があれば、そのコピーを添付してもよい。
- (注3) 理学部生物学科の志願者については、過去に研究発表会等で発表した実績がある場合には、その発表資料のコピーを添付してもよい。
- (注4) 志望理由書に加え、業績の補足資料の提出を認めるのは、上記（注1～注3）に記す学部・学科に限ります。
- (注5) 芸術・表現行動学科舞踊教育学専修プログラムに出願する者は、**健康診断書（本学所定の用紙）**を添付してください。健康診断書の提出は、実技検査を安全に行うために健康状況を把握するためのもので、その内容は、**試験の成績には一切影響しません。**
- (注6) 出願書類に記載事項の記入もれ、その他不備の場合は、出願書類を受理しない。また、一旦受理した出願書類の記載事項の変更、返却は認めない。
- (注7) 出願書類のうち日本語以外の言語で書かれた証明書等については、その日本語訳を添付すること。

(4) 外国語検定試験の取扱いについて

理学部物理学科では、外国語検定試験(ケンブリッジ英語検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL、TOEIC、英検)のスコア・級を持っている者は、その写しを提出すること。

- (注) 1. TOEFL、TOEICについては、団体特別受験制度によるスコアは認めない。
2. スコア・級の写しについては、本学入学試験日からさかのぼり2年以内に受験したものとする。

(5) 受験上・修学上の配慮の事前相談について

- ① 本学に入学を志望する者のうち、心身に障害あるいは疾病があり、受験上の配慮を必要とする者(点字又は代筆による解答を希望する者を含む)については、事前相談を行うので、10月1日(木)までに入試課に申し出てください。その際、「受験上の配慮事前相談申請書」や「医師の診断書」等を提出していただく場合があります。なお、受験上の配慮を講じる必要はないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様の問い合わせをしてください。
- ② 本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する者を2020(令和2)年4月入学者から受け入れることとしました。戸籍又はパスポートの性別と性自認が異なっている者については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、9月25日(金)までに必ず入試課に申し出てください。その際に、「出願申出書」及び「住民票又はパスポートの写し」等を提出していただき、出願資格等の確認をいたしますが、申し出によって、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、次の第1次選考・第2次選考に分けて行う。

(1) 第1次選考

文教育学部 理学部 生活科学部	<p>出願書類による書類選考を行い、令和2年11月13日(金)に、その合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」及び「検定料返還請求書」を郵送する。</p> <p>また、同日正午に入試課ホームページにも第1次選考合格者の受験番号を掲載する。</p> <p>入試課ホームページURL http://www.ao.ocha.ac.jp/</p>
--------------------------------	--

(2) 第2次選考：第1次選考合格者に対し、次の試験等を行う。(試験場：お茶の水女子大学)

文教育学部	人 文 科 学 科	小論文及び口述試験を行う。
	言 語 文 化 学 科	小論文及び口述試験を行う。
	人 間 社 会 科 学 科	小論文及び口述試験を行う。
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	小論文、口述試験及び実技検査を行う。 (実技検査は学校推薦型選抜実技検査を参照)
理 学 部	数 学 科	口述試験を行う。
	物 理 学 科	口述試験を行う。
	生 物 学 科	論述試験及び口述試験を行う。
	情 報 科 学 科	数学、日本語による小論文及び口述試験を行う。 〔注〕数学の出題範囲は次のとおり。 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列、ベクトル)
生活科学部	人 間 生 活 学 科	口述試験を行う。
	心 理 学 科	小論文及び口述試験を行う。

◆時間割

学 部	学 科	令和2年11月28日(土)		令和2年11月29日(日)	
		教科等	時 間	教科等	時 間
文教育学部	人 文 学 科	小 論 文	10:00～11:30	口述試験	10:00～(予定)
	言 語 文 化 学 科				
	人 間 社 会 学 科				
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 舞 踊 教 育 学 専 修 プ ロ グ ラ ム 音 楽 表 現 専 修 プ ロ グ ラ ム	小 論 文	10:00～11:30		
		実 技 *1	12:30～		
理 学 部	数 学 科	口述試験	10:00～(予定)		
	物 理 学 科		10:00～(予定)		
	生 物 学 科	論 述 試 験	10:00～11:30		
		口 述 試 験	13:00～		
	情 報 科 学 科	数 学 *2 ・ 小 論 文	10:00～12:00		
口 述 試 験		13:00～			
生 活 科 学 部	人 間 生 活 学 科	口 述 試 験	10:00～		
	心 理 学 科	小 論 文	10:00～11:30		
		口 述 試 験	13:00～		

*1 実技検査は11ページ～12ページ(学校推薦型選抜)を参照。

*2 「数学の出題範囲」…数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列、ベクトル)

(注) 第2次選考の日程については、「第1次選考合格通知書」に同封し通知する。

5. 合格発表等

令和2年12月10日(木) 正午

本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を、合格とならなかった者には「結果通知書」を郵送する。

また、本学入試課ホームページにも合格者の受験番号を掲載する。

電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

6. 個人情報及び試験成績の利用について

(1) 大学が取得した氏名、生年月日、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(学生証の発行、健康管理、授業料減免、奨学金の選考等)及び授業料等に関する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

7. 入学手続

(1) 合格者に送付される「入学手続関係書類」により手続きを行うこと。

① 入 学 料：282,000 円（予定額）

② 授業料年額：535,800 円（前期分 267,900 円）（予定額）

（入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。また、前期分の授業料を下記入学手続期間中に納付しない場合は、4月1日から5月31日までの間に納入することになる。）

③入学手続期間：令和2年12月11日（金）～12月17日（木）に郵送により行う。

（注） 1. 入学手続が受付期間内に完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱う。

2. 入学料及び授業料の減免については、22ページの「2. 入学料減免と授業料減免」を参照のこと。

3. 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

(2) 本学に入学手続を完了した者は、取り消して他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi/>）参照。）を受験することはできない。

(3) 合格者が特殊な事情により入学を辞退する場合は、令和3年1月22日（金）までに、その理由を付した本学学長あての「入学辞退願」（様式任意）を入試課に提出すること。

〔送付先〕

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試課

8. 合格とならなかった場合の取扱い

合格とならなかった者で、一般志願者として国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しようとする者は、前期日程の大学・学部から1つ、後期日程の大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願することができる。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等が異なる場合があるので特に注意すること。

本学に出願する場合は、別途「令和3年度お茶の水女子大学学生募集要項（一般選抜）」（10月下旬以降公開予定）により、インターネットで出願登録・支払いを行った上で、所定の期間に出願書類を入試課宛に郵送すること。

9. 帰国子女・外国学校出身者特別選抜の過去問題

過去問題は本学入試課ホームページに掲載していますので、参考にしてください。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

10. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されています。

テレメールで請求できます（料金後納250円）。インターネット <https://telemail.jp> からか自動音声応答電話（050-8601-0101）にアクセスしてください。一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。そこで、「大学案内」の資料請求番号「562372」をプッシュ又は入力し、あとはガイダンスに従って登録してください。

また、入試課ホームページ（<http://www.ao.ocha.ac.jp/>）からも請求できます。

なお、テレメールでの請求に関しては、テレメールカスタマーセンター

（電話 050-8601-0102）（9:30～18:00）にお問合せください。



11. 令和4年度帰国子女・外国学校出身者特別選抜（令和4年4月入学）に関する変更の予告

特に無し。

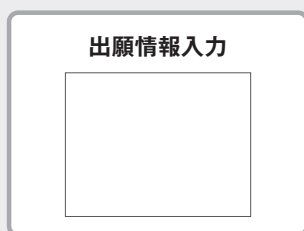
インターネット出願手順

インターネット出願サイトに登録しただけ(STEP3まで)では出願手続きは完了しません。出願内容の登録完了後の変更は一切できませんので、入力した内容を十分に確認してください。

出願期限までに、郵送にて書類が大学に到着(STEP5まで)して初めて出願完了となります。

計画的に出願サイト登録・検定料の支払いを行ってください。

※ご利用にあたってはPCメールアドレス・パソコン(インターネット接続済)・プリンター(A4出力)が必要です



STEP 1 インターネット出願サイトへアクセス

インターネット出願サイト

▶ <https://e-apply.jp/e/ocha/> または、

大学ホームページ

▶ <http://www.ao.ocha.ac.jp/> からアクセス

※24時間出願登録が可能です。ただし、入試出願期間の最終日の出願サイトにおける受付は、17:00までです。

STEP 2 出願内容の登録

①画面の手順や留意事項を必ず確認してください。

②画面に従って出願内容の選択、必要事項を入力してください。

③入学検定料のお支払方法を選択してください。

お支払いに必要な情報(お客様番号、確認番号、お支払い期限など)を控えてください。

STEP 3 入学検定料のお支払い

コンビニ(セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、セイコーマート)で入学検定料を払い込んでください。

※インターネット上でクレジットカード(VISA、MasterCardなど)でのお支払いも可能です。

※入学検定料の他に手数料がかかります。

STEP 4 各帳票をプリンターにてA4サイズで印刷

検定料の支払完了後に受信する「出願サービス 支払完了のご案内」メールに記載されたURLにアクセスして「志願者名票」等を印刷してください。

郵送用の封筒に貼り付ける「封筒貼付用宛名シート」も印刷してください。

※印刷はすべて「A4」サイズとしてください。

※ページの拡大/縮小は「なし」で印刷してください。

※「自動回転と中央配置」にチェックを入れて印刷してください。

STEP 5 書類の提出

「志願者名票」と他の必要書類(調査書等)を同封し、出願期限までに必着するように郵便局窓口から郵送(簡易書留・速達)してください。

※出願封筒は市販の角2封筒に、印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて使用してください。

以上で出願手続きは完了です

本学で出願書類を受理した後に、受験番号の通知メールが出願時に登録したアドレスへ送られます。

その後、受験票がダウンロード出来るようになります。必ず印刷し、試験当日持参してください。

出願期間の最終日から、3営業日以上たっても受験票のダウンロードができない場合はお問い合わせください。

※出願登録時のメールアドレスに送信しますので、登録後にメールアドレスを変更された場合は届きません。

【備考】

●入学検定料の支払い前に出願内容の誤りに気付いた場合は、入学検定料を納入せずに、もう一度STEP2出願内容の登録からやり直してください。

●入学検定料を納入していない登録内容は自動で無効となります。

○ インターネット出願手順(詳細)

[ご利用にあたって必要なもの]

- ①PC メールアドレス・パソコン(インターネット接続済、PDF ファイルが表示可能なもの)・プリンター(A4 出力)
ご自宅に設備がない場合は、学校や公共施設、インターネットカフェ等の設備でも出願することができます。
- ②受験者本人の写真データ
出願前3カ月以内に撮影されたもの・単身・脱帽・正面向きのデータをご準備ください。
受験当日の本人が確認できる写真を用い、鮮明に映っているものを使用してください。
また、写真の補正等を行わないでください。
なお、出願サイト上でトリミング(サイズ調整等)が可能です。
- ③角型2号(A4 が折らずに入るサイズ)の封筒

※インターネット出願では、出願登録及び検定料の支払いに加え、出願に必要な書類を郵送しないと受験できません。
出願書類の提出期限をよく確認し、郵送に要する日を考慮したうえで期限に間に合うよう手続きしてください。

[インターネット出願の手順]

1. インターネット出願サイトへアクセス

インターネット出願サイト→ <https://e-apply.jp/> または、
本学入試課ホームページ→ <https://www.ao.ocha.ac.jp/> からアクセス

2. 出願内容の登録

- ① 画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
- ② 画面に従って出願内容の選択、必要事項を入力してください。
- ③ 入学検定料の支払い方法を選択してください。
支払いに必要な情報(お客様番号、確認番号、お支払い期限など)を控えてください。
 - 出願の登録前に支払いは行わないでください。必ず、出願サイトで登録を行ってから、確認番号を控えた上で支払いを行ってください。
 - 出願内容の登録完了後の変更は一切できませんので、入力した内容を十分に確認してください。

3. 入学検定料のお支払い

コンビニ、クレジットカード、金融機関 ATM(Pay-easy)、ネットバンキングのいずれかで入学検定料を払い込んでください。

- 入学検定料の他に手数料がかかります。
- 納入済票・レシート等の貼り付けは必要ありません。
- 支払い期限は申込日を含め 4 日間です。(出願締切が 4 日より短い場合、締切が優先されます。)支払い期限内に入金がない場合、申し込みは自動的にキャンセルになります。
- 入学検定料の支払い前に出願内容の誤りに気づいた場合は、入学検定料を納入せずに、もう一度「2. 出願内容の登録」からやり直してください。

4. 各帳票をプリンターにて A4 サイズで印刷

検定料の支払い完了後に受信する「出願サービス 支払い完了のご案内」メールに記載された URL にアクセスして「志願者名票」等を印刷します。

- 印刷はすべて「A4」サイズとしてください。
- ページの拡大／縮小は「なし」で印刷してください。
- 「自動回転と中央配置」にチェックを入れて印刷してください。

5. 書類の提出

「志願者名票」と「写真票」に加えて、他の必要書類(調査書等)と合わせて書留速達にて郵送してください。

- 出願封筒は市販の角形2号の封筒に、印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて使用してください。

6. 受験番号の通知及び受験票の印刷

出願締切日から 3 営業日以内に、受験番号の通知メールが出願時に登録したアドレスへ送られます。

その後、受験票がダウンロード出来るようになります。必ず印刷し、試験当日持参してください。

出願締切日から 3 営業日以上たっても受験票のダウンロードができない場合はお問い合わせください

○ その他の案内

奨学金、入学科減免、授業料減免、学生寮等

1. **奨学金** (本学 HP から情報が見られます)

本学独自の奨学金として“みがかずば”奨学金(予約型奨学金)、アバナード奨学金(予約型奨学金)、学部生成績優秀者奨学金があります。

“みがかずば”奨学金及びアバナード奨学金は、お茶の水女子大学へ入学を希望する受験者に対して、入学後の生活の目処をたてていただくことを目的としたものです。アバナード奨学金は、理学部又は生活科学部の一部学科(食物栄養学科、人間・環境科学科)への入学希望者のみが対象です。入試出願前に奨学金を申請していただき、内定した方は入試合格・入学後に所定の手続きを取ることで、奨学生として採用されます。

学部生成績優秀者奨学金は、学部1・2年次から引き続き在学する本学学部3年生(中途に休学期間がない者に限る。)のうち、1・2年次の成績等が特に優秀と認められた者に授与されます。

他に本学に設置された保育所を利用する学生に保育料の一部を援助する育児支援奨学金があります。これらを希望する者は、学生・キャリア支援課(Tm03-5978-5148)に照会してください。

人物・学業ともに優秀でかつ経済的理由により修学に困難があると認められる者には選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。現在、第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子)の2種類があります。新たに貸与を希望する者は4月中に募集の掲示を行いますので学生・キャリア支援課に照会してください。

2. **入学科減免と授業料減免** (本学 HP から情報が見られます)

注意事項 入学科及び授業料を納付済の者は減免・猶予の対象となりません。

(1) 入学科減免の制度と申請資格について

① 入学科減免の対象者

次のa～cに該当する特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者。

- a 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災難を受けたことにより、入学科の納付が著しく困難であると認められる者
- b 独立行政法人日本学生支援機構の給付型奨学金の給付対象となる者
- c aに準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

② 減免額について

入学科の減免が必要と認められた者については、納付すべき入学科の全額又は一部を減免します。不許可となる場合もあります。

③ 申請時期

特別選抜の入学科手続期間内(12月中旬)に所定の申請を行った者について選考をします。また、入学科徴収猶予(延納)の制度もあります。猶予については(3)を参照してください。

(2) 授業料減免の制度と申請資格について

① 授業料減免の対象者

経済的理由により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。
日本学生支援機構の給付奨学金採用者(給付奨学生)

② 減免額について

授業料の減免が必要と認められた者については、納付すべき授業料の全額又は一部を減免します。不許可となる場合もあります。給付奨学生は全額減免となります(給付奨学金の月額減額となります)。

③ 申請時期

減免は年度を2期に分け半期分ごとに選考をします(申請時期は3月と9月)。給付奨学生も申請が必要です。

(3) 入学科及び授業料の徴収猶予と申請資格について

① 徴収猶予の対象者

経済的理由により、入学科又は授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。又は、次のa、bに該当する特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者。

- a 本学学生又はその学資負担者が災害を受け、納付困難と認められる場合
- b その他やむを得ない事情があると認められる場合

② 猶予期間について

入学科又は授業料の徴収猶予が必要と認められた者については、9月30日まで猶予されます。(9月30日が土、日祝日の場合は、直前の平日までとなります。)

③ 申請時期

入学科徴収猶予 特別選抜の入学科手続期間内(12月中旬)

授業料徴収猶予 3月1日～4月10日(4月10日が土、日祝日の場合は直前の平日までとなります。)

3. **学生寮** (本学 HP の情報を確認願います)

本学には、学部生の入居できる以下の学生寮がありますが、入居希望者が多数の場合は選考を行います。(例年 1.4 倍程度の倍率)
本学ホームページには写真付きで紹介がありますので、そちらもご覧ください。

令和 3 年度 入寮申請日程(学部生共通)

寮名称	対 象	申請期間	結果発表	入寮予定日
国際学生宿舎	日本人(新入生) 総合型・学校推薦型・ 帰国・編入	2月1日(月) ~2月19日(金)	3月12日(金) 予定	3月下旬予定
	留学生			
お茶大 SCC	日本人(新入生) 総合型・学校推薦型・ 帰国			
	学部留学生			

寮名称	所在地	定員	居室	食事	寮費(1か月)	対象学生
国際学生宿舎	板橋区仲町	399人	個室	なし	寄宿料 4,700円 その他合計約 12,000円	学部生 留学生
お茶大 SCC	文京区大塚	50人	個室 (ハウス)	なし	寄宿料 30,000円 他、光熱水費等負担	学部 1,2年生 (含留学生)

※寄宿料については令和3年度以降値上げになる可能性があります。

4. **入学科・授業料減免と学生寮の申請書類について**

(1) 申請書の入手方法について

以下のいずれかの方法により、申請書類を入手してください。

- ① お茶の水女子大学ホームページからダウンロードする (推奨)
- ② 郵送で入手する

合格発表後に郵送する「入学試験合格者への連絡事項」の巻末にある別紙「入学科減免(授業料減免)等申請書類請求書」に所要事項を記載し、切手を貼った返信用封筒(角形2号 33cm×24cm)を同封のうえ請求してください。

請求する封筒左下には「〇〇関係書類請求」と朱書きしてください。

返信用封筒に貼る切手の金額は以下の通り。

請 求 資 料		切 手
入学科・授業料減免		250円
学 生 寮	お茶大 SCC } 国際学生宿舎 } いずれか一つ	210円
	お茶大 SCC } 国際学生宿舎 } 両方	250円

※入学科・授業料減免資料及び学生寮資料の両方を請求する場合は、請求期間が異なるので、それぞれ封筒を用意し、切手を貼付してください。

申請書類請求期間

学生寮:令和3年1月4日(月)~令和3年2月12日(金)

入学科及び授業料減免:令和3年2月1日(月)~令和3年3月12日(金)

※ダウンロードはいずれも申請期間の最終日まで対応しています。

問合せ先及び請求先

学生・キャリア支援課 入学科減免・授業料減免・学生寮担当 TEL 03-5978-2646

メールアドレス gakusei@cc.ocha.ac.jp

5. **アパート等の紹介**

大学周辺のアパート等の情報については、いつでも学生・キャリア支援課で資料を閲覧することができますが、物件数等は必ずしも十分とはいえないので、親戚知人等の安心できる住居を確保するよう心掛けてください。また、本学の生協も民間の業者と提携して、学生向けの物件の紹介を行っています。

6. お茶の水女子大学交通案内

最寄り駅等	{ 地下鉄 丸ノ内線 地下鉄 有楽町線 都 営 バス	茗荷谷駅 から	徒歩 約7分
		護国寺駅 (5番口) から	徒歩 約8分
		大塚2丁目停留所前	

◎ J R 池袋駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・池袋駅〔新宿、荻窪方面行〕——約5分——→ 茗荷谷駅 下車
 有楽町線・池袋駅〔新木場方面行〕——約4分——→ 護国寺駅 下車

都営バス利用の場合

池袋駅東口乗車〔東京ドームシティ行〕——約20分——→ 大塚2丁目停留所下車
 (都02乙系統)

◎ J R 大塚駅から

都営バス利用の場合

大塚駅南口乗車〔錦糸町駅前行〕——約10分——→ 大塚2丁目停留所下車
 (都02系統)

◎ J R 東京駅又は J R 御茶ノ水駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・東京駅〔池袋行〕—約5分— 御茶ノ水駅 —約6分—→ 茗荷谷駅下車



お茶の水女子大学入試課

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

TEL 03-5978-5151・5152

FAX 03-5978-5895

E-mail nyushi@cc.ocha.ac.jp

月曜日～金曜日(祝日は除く)9時～17時

※ 問合せはできるだけ志願者本人が行ってください
入試課ホームページURL (<http://www.ao.ocha.ac.jp/>)